

## 魁 ニュース

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は一方ならぬご愛顧を賜りまことにありがとうございました。

本年も尚一層お引立賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

久しく好調を続けております国内景気も多少まだ模様が見えてきましたが全体としては引き続き順調に推移する見通しでまずは結構なことであります。特に建築関係につきましては人手不足による価格上昇等気にかかることがありますが高水準の工事が続く見通しで本年もみなさまにはご多忙な状態が続くことであらうでしょう。非鉄金属業界も旺盛な需要に恵まれ各社超繁忙の状態が続いてきました。伸銅品に関しては半導体用リードフレーム家電用端子材などに減産調整の動きがありますが自動車関連の好調や円形（コイン材）の高水準の生産で充分補われ引き続き好調のようであります。アルミ関連は缶材でスチールの巻きかえしの影響が多少懸念されますが自動車関連のアルミ材の使用量増加が見込まれ建築関係の好調もあり着実な伸びを示すものと思われまます。原料価格は米国の景気後退に伴う需要減が響き、軟化傾向にあります。こればかりは為替の影響がストレートに反映されますのでどのような展開になるか予測のつきがたい部分がありますので商品価格についての見通しはむつかしいことですが、1年間の大きなトレンドとしては概ね右肩下がり軟化傾向になるのではないのでしょうか。最後に御得意先様各社のご繁栄と皆様のご健祥をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

### ☆ 1月の魁基準建値は400円/kgです

12月の電気銅建値は1～5日400円、6～31日390円で平均銅価は391円43銭でした。1月の電気銅建値は410円でスタートしましたので1月の魁基準価格は $(410 + 391.43) \div 2 = 400$ 円72銭となり円未満切捨て400円となりました。従って価格帯は350円超え400円以下となり1ランク下がります。

円未満を切捨てる計算方式を採用しておりますが、もしこの計算方式が四捨五入の場合は1月の魁基準価格は401円となり400円超～450円以下の欄となり1ランク上の欄になります。今の水準で電気銅建値が推移しますと2月は確実に1ランク上がることになりそうです。

## 魁 ニ ュ ー ス

三年振りに関西に雪が積りました。奈良は20cm 通勤客の足であるバスや電車はダイヤより20～30分遅れ 通勤はもとより今日から始まる私立の入学試験にも影響が出ました。大阪市内の高速道路も除雪作業のためストップ、一般道路を走る車も少なくすいているのでスノータイヤをつけた車が気持ち良く走っているように見えました。

お空に気象衛星なるものが上がるようになりその数も増えたため最近の天気予報が見事に適格な予報を出していることは皆さんもよくご承知のところでもあります。このたびの雪も31日から降りはじめ31日の夜も降って積雪があることは当然予報されていました。

ところがそれに対する対策が十分にされていたら遅れたりせずすむ筈の都市近郊のすべての鉄道が麻痺するようなことになるのは納得できません。警報も出ていたし十分に備える時間の余裕があったにも拘らず混乱してしまうとはなんということでしょう。なにしろ3年振りのことなので等の言いわけも聞きたくありません。やはり公共的性格を忘れて運賃を上げることや沿線の不動産開発にばかり目をむけて利益を追い求める私企業姿勢が強すぎるからこんなことに慌てなければならなくなっていると言えます。社員の出勤姿勢にも言えるのですがこのようなことがあっても遅刻しないでくる人、遅刻してくる人、様々です。いつもより早目に出て道中の時間に余裕をみて出勤しようという判断が働いて来る人と働いて来ない人がいるのです。このような不時の際に本質が見えてくるのではないのでしょうか。ちょっと手厳しすぎるのでしょうか。

さて愈々入学試験のシーズンに入りました。その成否が人生のすべてを左右するものではありませんが大きく影響することは確かです。それだけに受験する人がベストのコンディションで最大の努力を払われるよう又首尾よい結果を出されるよう祈るや切であります。予備校や塾にたくさん投資をした人に天の恵みがありますように……。

### ☆ 2月の魁基準建値は383円/kgです

1月の電気銅建値は4～16日410円、17～22日400円、23～31日380円で平均銅価は396円84銭でした。2月の電気銅建値は370円でスタートしました。従って2月の魁基準建値は $(396.84 + 370) \div 2 = 383.42$  円未満切捨てで383円となります。魁価格帯は前月とお同じ350円超～400円以下の欄で変わりありません。

## 魁 ニ ュ ー ス

東西の緊張緩和、東欧の民主化運動の興隆などの大きな変化が連日紙上を賑わし、この間の衆議院選挙では資本主義体制と社会主義体制の選択論争がとりざたされていました。自由が束縛され国家によって管理される社会より社会規範や法である程度の規制や干渉があっても基本的には自由社会の方が経済的に繁栄していることは例外はあっても事実多いと言えましょう。だからといって資本主義体制が絶対いいと言えましょうか。西側の体制にある国々でも多くの貧窮した民を抱える国は数多くあります。日本は敗戦後の大手術で平等化・均質化の社会になりましたが貧富の差は資本主義体制の国々の方に顕著であり、多くの国々でそれはゆゆしい政治問題になっております。その点戦後のわが国は貧富の差が少なく理想に近い姿でしたが、それでもここ2・3年来のストックインフレは大都会に働く人々から持家の夢を奪いとってしまいました。著しい地価の上昇は信用額の増大をもたらし、景気をおしあげる原動力になっていますが、一方土地の投機を更に呼びこむことにもなり、それが海外への投資にも及んできて、内外より急激な日本の不動産投資を非難する声が高まってきております。昨今の日本は財テクばかりで土地だ株だとお金を増やすことに血道をあげエコノミックアニマルと非難されても仕方がないほどお金のことばかり、経済力で人間の評価をしてしまうような兆候もあります。本当にこれでよいのでしょうか。どこかの民族のように毛嫌いされないように、愛されなくても尊敬されなくても親しまれ信頼される国際人となり国家となるよう心がけねばその将来が心配であります。話は横道にそれましたが戻しましょう。余りにも膨れすぎたストックインフレ、信用経済と実物経済の乖離をこのまま放置することは国内の景気にはいいがその反面弊害があることがはっきりしてきました。日本の経済力が実力以上に膨らんで海外への投資や投機の伸びがあまりにも急激に伸びすぎており、各国わけてもアメリカの国民感情をそこなうことに及んできております。ここはブレーキをかけていかねばならないところで、今、日銀が金利を高め誘導していることは当然とっていいことです。国内の景気が少々鎮静化する方が望ましいと考えられてとられている処置と見れば之から暫らくは高金利時代が続くと読めます。いざなぎ景気以上にスケールの大きい好景気も今変りはじめたと考えられないのでしょうか。皆様のお考えをお聞かせ下さい。

### ☆ 3月の魁基準価格は397円/kgです

2月は1～14日370円、15～19日380円、20～22日400円、23～28日410円で平均銅価は384円74銭でした。3月の電気銅建値は410円でスタートしました。従って3月の魁基準建値は $(384.74 + 410) \div 2 = 397$ 円37銭、円未満切捨て397円となります。価格帯は350円超400円以下の欄で1月・2月に引続き変わりありません。

2月に電気銅建値が反発して上昇した要因の一つは、米国のドレスデル証券会社の倒産による売り玉整理というマーケット要因であり、一つは円安です。銅の需給関係を先読みして売り込まれすぎていたことでもありますので、1月のような下がりは今暫らくないと考えられます。

## 魁 ニ ュ ー ス

新入生が胸ふくらませ希望にもえて登校する嬉しい日、とくに小学校の入学式にお母さんに手をつながれた一年生が嬉しそうな顔をして校門をくぐる様は眺めるこちらまでがほのぼのとしてくる光景です。毎年入学式の頃は桜が満開で記念写真を撮るには絶好の背景になるのですが今年は開花が早かったため散って葉桜になっている所もあるのではないのでしょうか。古くから言われていることに6日のアヤメ・10日の菊とか遅れては値打ちの下がることを指す場合に使われる譬えがありますが、早すぎても具合のわるいこともあります。このような場合どんな譬え言葉があるのかご存知の方教えて下さいませんか。

4月1日より大阪で花と緑の万博がはじまりました。昭和45年の万博以来日本では4度目の大阪では20年振りの万博です。数年前この話を聞いた時、そんなもので万博になるんかなと首をかしげましたが地球規模の環境保全が問われる今日にふさわしいテーマの万博ではないかと思えます。古代からわが国は豊かな花文化と自然観を育ててきましたが工業化や都市化を進める中で後へおいやり忘れてきた自然との調和をあらためて考え取り組んでいく絶好の機会ではないかと思えます。4月27日からは午後10時30分まで開場します。アフターファイブを光やイベントで演出する夜型万博とも言われていますが、今年のなにわは花が満開です。みなさん花と緑の万博へどうぞお越し下さい。またそのおりに是非当社へもお立寄り下さい。宿泊予約などもお手伝いさせていただきますのでご遠慮なくお申しつけ下さい。

### ☆ 4月の魁基準建値は466円/kgです

3月の電気銅建値は 1～5日410円、6～14日440円、15～19日450円、20～26日460円、27～31日450円で平均銅価は442円86銭でした。4月の電気銅建値は490円でスタートしました。従って4月の魁基準建値は $(442.86 + 490) \div 2 = 466$ 円43銭となり円未満切捨て466円となります。4月の魁価格帯は2ランク上がり450円超500円以下の欄が適用されます。

### ☆ 異常高をみせる銅価のうごき

2月初めより動きはじめた銅価の上昇トレンドは2ヶ月続き4月月初に490円をつけました。昨年1月末から2月初めにかけての高値に顔を合わせました。2ヶ月間に12万円も上がったこととなります。大方の予想を超えたこの銅価の上がりの原因は何なのでしょう。本年年初の方の予想はアメリカの景気後退から銅需要も減少していき、LME及びN. Y. COMEX両市場の在庫も漸次増加していくであろう。一部の供給不安もあるものの銅価水準からみて生産者の供給増意欲も強く需給関係は徐々に緩んでいくであろうということでした。しかしアメリカ経済が住宅着工戸数や自動車販売量に2月ごろから上昇の気配が出てきたことから回復の兆しが出てきているのではないかと報じられ、一方供給面ではLME, N. Y. COMEXの両在庫が低水準を続けペルーのスト長期化等供給不安材料が出てきたところから両市場の銅価は上昇をみせております。之はマーケット状



## 魁 ニュース

青葉若葉の初夏の季節になりました。さわやかな季節の大型連休ゴールデンウィークをみなさん如何すごされましたか。万博会場も超満員、円安もものかは、空港は海外旅行を愉しむ人で超満員、どこもかしこも人出の渦、お疲れになられた人も多いでしょう。しかし何といっても盆や正月と違い自然とのふれ合いには又とない良い季節だからゆっくり心身をやすめてリフレッシュされた方も多いと思います。

考えてみれば私達日本人は極めて恵まれた自然環境にあります。今アースデーとかいって自然と人類のかかわり合いを全地球的に考え見直そうという動きが出てきています。

国連水会議の資料によると、おいしいきれいな水が飲めるのは世界人口の30%だそうです。人口が自然が許す範囲以上に増えて同時に活動が複雑になったために自然とのバランスがくずれてきました。人類が地球上に誕生し10億人にふえるのに100万年かかったのに次の10億人がふえて20億人になるのには、わずか100年というスピード(19世紀)で20世紀に入るとわずか30年で10億人、最近では15年とかからなくなり、ますます早まってきております。人口予想では1990年53億、2000年には62億人になると見込まれています。この人口増加もエネルギーや食料の豊かな先進国ではわずか1億人の増加と見込まれ、一方開発途上国では益々増加のピッチが早まっており62億の世界人口のうち50億人は開発途上国にすむことになるそうです。

人類歴史上、自然との共存の上で訪れた過去2回の危機は、最初の危機は狩猟から栽培農業に転換することで第2の危機は産業革命とアメリカ新大陸の開発によって解決されてきましたが、第3の危機ははたしてどうなるのでしょうか。CO<sub>2</sub>の増大、砂漠化の拡大、酸性雨・霧による自然破壊 e. t. c.、地球全体の問題として解決しなければならない問題がふえて来ています。日本人が割箸を使うのは貴重な資源の濫用だと非難の声が上がってきておりますが、確かに一考を要することだと思います。ハンバーガーチェーンの大手が発泡スチロールの容器を紙製に換えると新聞で発表されておりました。発泡スチロールは焼却できますが炭酸ガスの排出量が増えるからだそうです。森林資源の保護のため再生紙利用の運動も広がってきています。使い捨てから再利用を考え、出来るだけ資源の浪費をへらすよう努力することも大切だと思います。

お金があつて食料もエネルギーも充分に買えその上自然環境にも恵まれた日本！

そこに住む私達が自分の事だけを考えるのではなく地球全体のことを想うとき、そこに感謝の念が生まれ何をしたらよいのかどうすべきなのか真剣に考え行動にうつすことが今必要なのではないのでしょうか。

☆ 5月の魁基準建値は466円/kgです

4月の電気銅建値は1～5日490円、6～23日470円、24～28日460円で平均銅価は472円でした。5月の電気銅建値は460円でスタートしました。従つて5月の魁基準建値は(472+460)÷2=466円となります。魁価格帯は前月同様450円超～500円以下の欄で変わらずです。

## 魁 ニュース

入梅のころとなりました。さわやかな初夏からじめじめとむしあつい梅雨の季節にかわり  
ます。梅の実が黄熟するころ降るので梅雨というのだそうですが霪雨と書かれたのを見た  
方もおられましょう。物みな霪を生じるところからきているのですね。梅雨の雨は少々陰  
鬱なイメージが強いが、しかしこの季節の雨が大地をうるほし農作物を育てる大きな恵み  
の雨であることは苗が植えつけられたばかりの水田の水のたわわなる様をみるにつけ強く  
感じます。この季節農村の朝の挨拶は「いいおしめりですね」の一言につきます。6月の  
雨は新緑の緑をいよいよ濃くし花や実を結ばせます。ムクゲが咲きだしやがてアジサイが  
薄桃色、藍色、紫色とさまざまに咲き出してくるでしょう。家庭菜園をなさっておられる  
ご家庭なら毎朝作物の生長の早さにおどろく時でもあります。この天の恵みの雨も時々気  
まぐれな災いをもたらしてくれることがあります。降りすぎによる洪水です。こればかり  
は勘弁していただきたいものです。

### ☆ 6月の魁基準建値は462円/kgです

5月の電気銅建値は2日～14日500円、15～21日470円、22～26日460  
円、28～31日450円で平均銅価は474円でした。6月の電気銅建値は450円で  
スタートしました。従って6月の魁基準建値は $(474 + 450) \div 2 = 462$ 円となり  
ます。価格帯は先月先々月と同様450円超～500円以下の価格帯で変わりはありません。

### ☆ サマービアーセール

( 期間 6 / 21 ~ 7 / 31 ) 開始

これからの季節の屋根工事は照りつける太陽熱で大変きびしい仕事になります。作業能率  
の高い魁を使って身体の負担を少しでも軽くしていただきたい願いを込めて、本年も6月  
21日より7月31日までビアーセールを開催いたします。キリン一番搾り<生>ビール  
500ml 4缶、又はビール券2枚、又はレディーボーデンアイスクリーム450mlのギフト  
券2枚、この3種類のうちいずれかを本体2ケース毎にプレゼントすることになっていま  
す。チラシは6月15日頃までにお届け申し上げますので、お取り引き先様へPRして下  
さいますようお願い申し上げます。

### ☆ 空きパレットご返却のお願い

魁専用のパレットが不足し生産にも障害が出て大変困っております。このパレットはサイ  
クルがきくよう頑丈に作っておりますので高価なものです。空いたパレットは最寄りの運  
送便で着払いで即刻ご返送下さいますようお願い申し上げます。又少量しか入っていないパ  
レットはご面倒でしようが空けていただいてご返送下さいますようお願い申し上げます。

## 魁 ニュース

一年の半分がすぎました。早いもので残り半年で今年一年もおしまいかと思うとなぜか身体がこそばゆくなってきてじっとしておれない気持ちになります。

いよいよ夏です。夏になると子供の頃のことを思い出します。子供の頃は夏休みもあって夏は1年中で一番楽しい季節でした。川遊び、夏祭、海水浴など自然とのふれ合いで夏ならではのものが一杯ありました。小さな川の流れの上下を小石を積んでせきとめて水をかいだし水かさがすくなくなったところで手掴みで鮎や鯰をバケツに何杯もとったこと。鯰を家で料理してもらって賞味したら姿形に似合わず美味で淡泊な味だったこと。祭の夜はお小遣いをもらって夜店をひやかすことも、ふだんは小遣いなど持つことがないのでそれは嬉しいもので、祭で見かけた同級生の女の子が浴衣を着ていて学校でみかけるいつもと違って妙に大人びて見え胸をドキドキさせたことも、アセチレンガスの臭いと共に妙に懐かしく思います。

大阪では6月30日の愛染祭に始まり天神祭をピークに7月31日の住吉さんの夏越祭までこの1ヶ月間は毎日どこかで夏祭が見られます。今年は花と緑の万博で特に夜がきれいと言われており、そちらに人出が多いようで今年は夏祭をお世話する社中の人々も大変だろうと思います。京都の祇園祭、大文字の送り火などは近くなので行ったことがあります。東北の3大祭といわれるねぶた祭、秋田の竿灯、仙台の七夕祭、阿波踊りなど機会があれば一度は行ってみたいと思う祭です。

歳時記の季語に、花萼（はなごさ）、油団（ゆとん）、簾（すだれ）、蠅叩き、蠅帳、蚊帳（かや）、天瓜粉（てんかふん）、団扇（うちわ）、風鈴、行水、打水、金魚売りなど懐かしい辞句がありますが、今のくらしにどれだけ残っているのでしょうか。クーラーの普及で私達の生活から消夏の営みがなくなってしまいました。便利になってありがたいことですが何となく寂しい思いもいたします。どんどん季節感が薄れていきますが、せめて夏祭ぐらい賑やかに続きますよう奉賀帳がまわってきたら精々はずんでご寄進しようではありませんか。

夏まけせぬようみなさまのご健康をお祈り申し上げます。

### ☆ 7月の魁基準建値は448円/kgです

6月の電気銅建値は、1～20日450円、21～30日440円で平均銅価は446円66銭でした。7月の電気銅建値は450円でスタートしました。従って7月の魁基準建値は $(446.66 + 450) \div 2 = 448$ 円33銭となり円未満切捨て448円となります。魁価格帯は400円超450円以下の欄で1ランク下がります。

### ☆ ピア—セール実施中につき

販売促進をお願いします。

先月の魁ニュースでお願いしましたとおり、6月21日から7月31日までピア—セールを実施しております。暑い季節屋外のお仕事は大変です。特に銅板は照り返しがきつくて作業員泣かせです。このような時作業性のよい魁は工事業者のご負担を少しでも軽減するのにとてもお役に立ち喜ばれます。

## 魁 ニュース

やめた方がいいことはわかっていてもやめられないまま30数年喫ってきた煙草であったが、ひよんなことからやめることができ3ヶ月を経た。ひよんなこととはこういうことである。5月1日某商社からお誘いをうけヨーロッパアルミ圧延メーカー視察の旅行に旅立った。同行は大阪・東京合わせて20人程であるが大阪からの6人は私をのぞいて誰も煙草を喫わない。喫煙者は私だけになっていた。御承知の通り機内では喫煙席は差別されており当然禁煙席とは離れるので同行の5人とは席が別になり寂しいことになるので私も禁煙席を頼み、こんどの旅行中だけは禁煙を実行してみようと免税の煙草も買わずかわりにチューインガムを多目に買って機内の人となったのである。機内は勿論のこと飛行場においても訪問した会社のオフィスでも喫煙が出来るかどうか確かめねばならず結構気を遣うようである。いっそう喫わない方が気が楽に思えるようなところもある。また視察とはいっても観光旅行のような気楽な旅行でいらいらすることがないので我慢しきれぬような衝動に襲われることもなくガムをクチャクチャ噛んでいるのが丁度似合うのである。

知らぬ間に8日間のあわただしい視察旅行が終わった時、ついに1本もすわず禁煙旅行は無事済んでいたというわけである。爾来ここで喫ったら元の木阿彌と我慢しながら時々頭をもたげる誘惑と闘かうこともあるが、この禁煙が続けられるだけ続けられ、1年でも続けければ更に続けてみようと思ふ余り力まず軽い気持ちで禁煙している昨今である。以上こんなやめ方もありますのお話でした。

我が社も加盟しております大阪金物団地が発行する『団地だより』に面白い詞が紹介されていました。作者不詳ですがなにわ商人の諧謔性がよく出ています。お楽しみ下さい。

1. 年をとったら 出しゃばらず  
憎まれ口に 泣きごとに  
人のかげ口 グチいわず  
他人のことは 賞めなはれ  
聞かれりや 教えてあげても  
知ってることでも 知らんふり  
いつでも アホでいるこっちゃ
2. 勝ったらあかん 負けなはれ  
いづれ お世話になる身なら  
若いもんには 花持たせ  
一步さがって ゆずるのが  
円満にいく コツですわ  
いつも 感謝を忘れずに  
どんな時でも ヘエおおきに
3. お金の欲を 捨てなはれ  
なんぼ ゼニカネあつても  
死んだら 持って行けまへん  
あの人には ええ人やった  
そないに 人から言われるよう  
生きているうち バラまいて  
山ほど 徳を積みなはれ
4. そやけど それは表向き  
ほんまは ゼニを離さずに  
死ぬまで しっかり持ってなはれ  
人にケチやと 言われても  
お金があるから 大事にし  
みんな ベンチャラいうてくれる  
内証やけど ほんまだっせ
5. 昔のことは みな忘れ  
自慢話しは しなはんな  
わしらの時代は もう過ぎた  
なんぼ頑張り 力んでも  
体が いうことききまへん  
あんたはえらい わしやあかん  
そんな気持で おりなはれ
6. わが子に 孫に 世間さま  
どなたからでも 慕われる  
ええ年寄に なりなはれ  
ボケたらあかん そのために  
頭の洗濯 生きがいに  
何か一つの 趣味持って  
せいぜい 長生きしなはれや

☆ 8月の魁基準建値は459円/kgです

7月の電気銅建値は 1～7日450円, 9～17日470円, 18～25日450円, 26～31日460円で平均銅価は458円18銭でした。8月の電気銅建値は460円でスタートしました。従って8月の魁基準建値は $(458.18 + 460) \div 2 = 459$ 円09銭で円未満切捨て459円となりました。従って魁価格帯は1ランク上がり450円超500円以下の欄となりますのでご了承下さい。

☆ ビアールセール終了

ご協力ありがとうございました

6月21日から7月31日まで開催しましたビアールセールは皆様のご協力を賜り好成績で終了いたしました。紙上を借り厚く御礼申し上げます。

## 魁 ニュース

ようやく、朝晩は涼しくなり虫の音が大きくなって秋の訪れを感じるようになりました。それにしても今年の夏は暑かったですね。いまなお残暑厳しきものがあります。夏物商品はよく売れました。クーラーをはじめとしてビール、アイスクリーム、浴衣等々、ホクホク顔をしている業界が多いようです。大阪は花博で特に調子がよいようですが、もうひとつバイエリア開発の一環として第三セクター方式で250億の事業費をかけてオープンされた大阪港の海遊館がすごい人気を集めています。私も見て来ましたが従来の水族館とは名前が違いうように中身も違っております。環太平洋火山帯の海陸及そこに棲息する魚類を出来る限り自然に近い状態で見せるように考えておりペンギンのおる所では雪を降らせていたり太平洋の海を模した水槽は5000トンの海水が入っており（目下世界最大）7mのジンベイザメが遊泳しています。エスカレーターで一気に8Fまであがりそこから廻廊式にだんだんと下がっていきませんが、水槽を上部、中央そして下部からと眺める角度も変化し恰もわが身を海中遊泳におくやに錯覚します。ペンギンが水中で泳ぐさまをはじめてみました。アシカなどと同じようにダイナミックで素早い泳ぎで陸上で腰をふりふり歩いているさまとは結びつかぬ見事なものです。70分から90分ほどの観察がすんで外へでるとマーケットプレースがあり環太平洋どころか世界の料理が勢揃いしておりディスコもあって若者を惹きつけています。大阪港は地下鉄の終点駅ですが附近は倉庫ばかりで今日までは辺鄙でさびしいところでした。しかし之からは人の集まる所が変わってゆくのかも知れません。海遊館。あなたも一度いらっしやいませんか。

秋の需要期に入り、皆様のお仕事も益々お忙しくなつてこられたことと存じます。全体に素材産業はまあまあ加工産業は絶好調といった景況のようですが建築工事関係は人手不足も影響し、好調の部類に入っておりますがここでも人のいない所は仕事もなく人の多勢おる所は仕事が集中してその消化に嬉しい悲鳴をあげているという両極化が進行しておるのではないのでしょうか。今、3Kとか5Kとか人手不足時代の悪条件が云々されておりますが、若者の大企業指向が強く中小企業を敬遠する若者が多いというのは皮相的な見方で意外や、働き甲斐を求め重視して企業規模を問わない若者が増えておるそうです。そういった若者をしっかり掴み企業に定着してもらうため自らをPRする努力を怠らず続けて行きたいと思えます。

### ☆ 9月の魁基準建値は480円/kgです

8月の電気銅建値は1～7日460円、8～12日480円、13～21日500円、22～31日480円で平均銅価は481円74銭でした。9月は480円でスタートしましたので9月の魁基準建値は(481円74銭+480)÷2=480円87銭、円未満切捨て480円になります。従って価格帯は前月同様450円以下の欄です。

## 魁 ニュース

花と緑の万博が入場者2300万人を記録して成功裡に終了しました。皆さんには行かれましたか。私共の会社には地の利を生かして12回も行った人もおりますが、暑いさかりを避けてと思っていたらいつのまにやら終幕で行きそびれてしまった人も多いのではないのでしょうか。花博特需で今年の関西は景気も最高潮であったように聞いております（実感はないんです）が花博が終わった之からはどうなのか気にかかります。20年前の万博のあとは景気が悪くなりました。偶然の一致がありそうな予感がいたします。高金利、株価急落、原油高騰と景気の足を引っ張る条件が出揃っております。関西空港がオープンする予定が平成7年と聞いておりますが、その頃までは少々もたつくのではないのでしょうか。冬遠からずであります。

食欲の秋がやってきました。昔は食欲の秋のことを秋渴きといったそうですが、この渴きは乾燥することではなく飢え渴くように食べものがうまくて何でも猛然と食べる様子を言うようです。秋になり越冬にそなえてカロリーを体内に蓄えるべくしっかり食べるのは動物世界では自然の摂理ですが、年中食べるものに不自由することのない恵まれた私達がそれを真似するわけには行きません。せせり出てきた腹がさらにふくらみ窮屈になったベルトに又新しい穴を明けることにならないようコントロールしなければなりません。しかし会社は別です。今しっかり栄養をつけて越冬にそなえねばなりません。実り多い秋になるよう皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

### ☆ 10月の魁基準建値は455円/kgです

9月の電気銅建値は 1～5日480円、6～10日460円、11～18日490円、19～22日470円、25～29日440円で平均銅価は470円でした。10月の電気銅建値は440円でスタートしました。従って10月の魁基準建値は $(470 + 440) \div 2 = 455$ 円となります。価格帯は451円超～500円以下で先月と同じで変わりません。

### ☆ 10月21日より11月30日まで

#### “得やね（屋根）セール”実施

平素のご愛顧に感謝し、銅一文字魁及びステンレス一文字魁のご愛用者拡大のため“得やねセール”を実施いたします。今月中旬チラシをお届けいたしますので、工事店様へは請求書ご送付の際同封して下さいますようお願い申し上げます。職人不足でお困りの所もあり、工事能率を高めることが必須となっている現状では最適の商品であります。是非この機会にお買い上げ下さるようお願い申し上げます。絶大なるご協力のほど伏してお祈り申し上げます。

## 魁 ニュース

朝夕は冷え冷えしてくる晩秋になりましたが皆さん風邪などひいたりしておられません。月日のたつのは早いもので年末を控えて色んな算段をしなければならないころになりました。今日から年賀ハガキの売り出しもはじまりました。新年1月の第1土曜と日曜日が5日6日になりますので新年は7日が初出となるころがほとんどだと思いますが、年末年始の休日が8乃至9日間となり大型連休となりますとスキーとか温泉とかどこもさぞ満員で大変なラッシュになることでしょう。

イラクのクェート侵攻が始まり中近東に緊張が高まってはや3ヶ月強を経過しました。この問題がどのような形で收拾するのか予断を許しませんが、今、私達日本人にとっても非常に大きな関わり合いをもつ事が国会で論議されています。非武装自衛隊派遣の問題です。経済的大国になった日本に対して米国から要請された協力の一つが多国籍軍への資金援助であり他の一つがこの人的援助であります。

石油資源の安定確保による恩恵をうける日本がこのイラク問題で何らかの協力をしなければならぬのは当然のことではありますが、非武装とはいえ自衛隊を派遣するという事になればそんなに軽々しく受け容れられるものではありません。第二次世界大戦における非情な戦いをもたらすものを見てきた私達にとって、今一切の武力闘争を放棄したわが国の平和憲法は誇るべきすばらしい資産であり、なんとしても守りぬいていくべきものだと思うのです。それが世界の規範から異色のものになっていても、日本のものとして守りぬいていくことが大切なことでいつか多くの国々の人からも讃意の集まるころとなりましょう。戦場になる可能性のきわめて高いところへ武装しない（といっても軽武装はする）自衛隊がいったい何ほどのことが出来るのか。それを実現するために憲法解釈のこぢつけ論議をしているこの国の政治家に一本芯の入った理念の確立を望みたいところです。世界の人々から信頼される日本となるためアメリカからいわれたら何でもいわれた通りすることから卒業して欲しいと思います。それにしても熱砂の国へ派遣されている多国籍軍の兵士がクリスマスをも国で迎えられようように早く解決して欲しいものです。

### ☆ 11月の魁基準建値は400円です

10月の電気銅建値は1～6日440円、8～11日430円、12～16日410円、17～23日380円、24～31日400円で平均銅価は410円でした。11月の電気銅建値は390円でスタートしました。11月の魁基準建値は $(410 + 390) \div 2 = 400$ 円となります。従って11月の魁価格帯は350円超～400円以下の価格帯となり10月より2ランク下がります。この価格帯は本年3月以来8ヶ月振りです。

### ☆ 魁 得やねセール実施中

10月21日より11月30日まで恒例の拡販のための得やねセールを実施しております。今月は魁基準建値が400円丁度となり350円超400円以下の価格帯となり10月の価格帯より2ランク下がりましたのでお求めやすくなりましたので販売強化品目におとりあげ下さいますようお願い申し上げます。

## 魁 ニュース

木枯らしの吹く季節に台風がやってきてほんに変な具合であります。灯油代が少しでも助かるのはありがたいことですが、こんなに暖かいとお困りの御商売も数あることでしょう。なんだかんだといってる内にはや師走を迎え、月日のたつことの余りの早さに又年のはじめに樹てた計画の何ひとつ実現をみていないおのが怠惰ぶりにあきれ自己嫌悪におちいっております。いざなぎ景気更新を目前にして景気はスローダウンの兆しをみせはじめました。株や土地やマンションやゴルフ会員権等がどんどん値上がりする。之はいったいどういことなんだといぶかっていたら、最近それはバブルでありましたよということで泡がきえ、実体が見えるようになりつつあります。平成景気で踊り浮かれていないで平静にならんといかんということです。

昨今 物流コストが急速に上昇してきました。必要なものを必要なだけ必要なときに調達するというコスト低減指向の潮流は大量輸送機関を過去の遺物化とし交通マヒと運転手不足をもたらした物流コストを急上昇させる結果となりました。物量が運輸能力を上回ると必要なものが必要なだけ必要なときに間に合わなくなってしまいます。特に当社が取り扱っております商品は重く扱いにくいため真っ先に敬遠され長物や大板等は特に困っております。景気が落ち込めば物量と運輸能力のバランスが戻る時も来るでしょうが、それまでは物流問題は私達を悩ませ続けることになりましょう。私達も皆様にご迷惑をおかけすることを最小限に抑えるよう必死の努力をしておりますので何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

カレンダーもあと1枚を残すのみとなりました。この1年賜りましたご愛顧に紙上を借り厚く御礼申し上げます。ご自愛賜り健康で良き新年をお迎え下さいますよう心よりお祈り申し上げます。

### ☆ 12月の魁基準建値は376円/kgです

11月の電気銅建値は1~12日390円、13~30日380円で平均銅価は383円80銭でした。12月の電気銅建値は370円でスタートしました。従って12月の魁基準建値は $(383.80 + 370) \div 2 = 376.90$ となり円未満切捨て376円となります。12月の価格帯は350円以上400円以下で前月同様変わりません。

### ☆ 得やねセールご協力

#### ありがとうございますしました

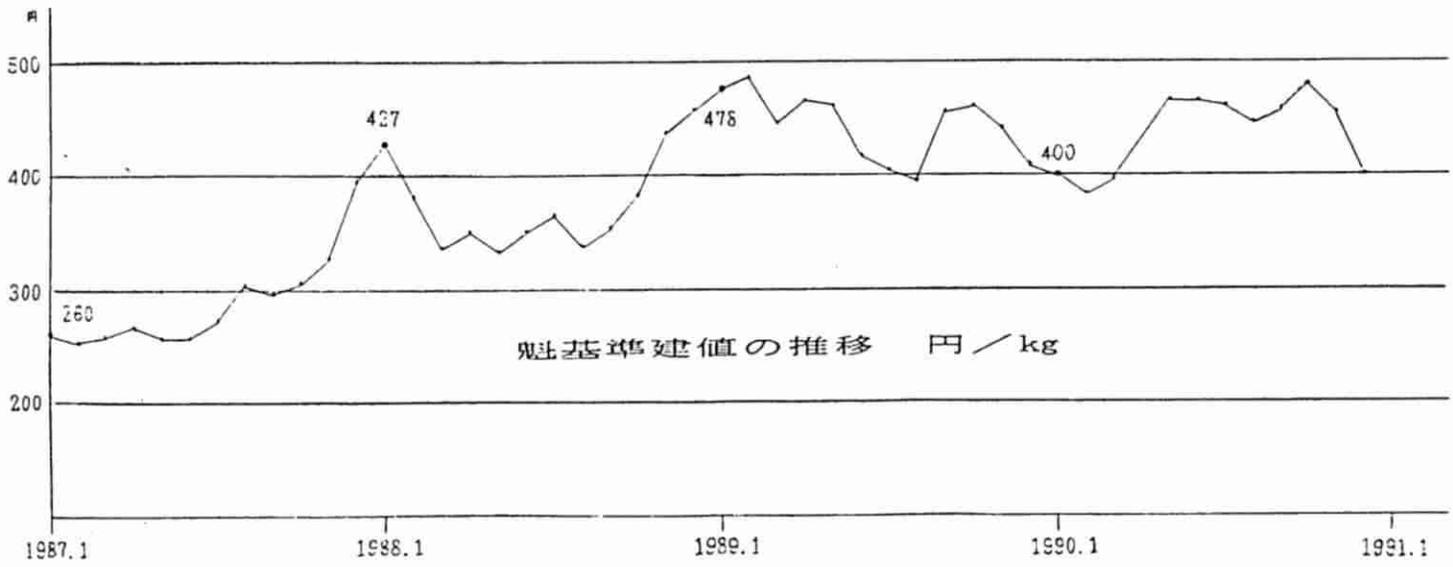
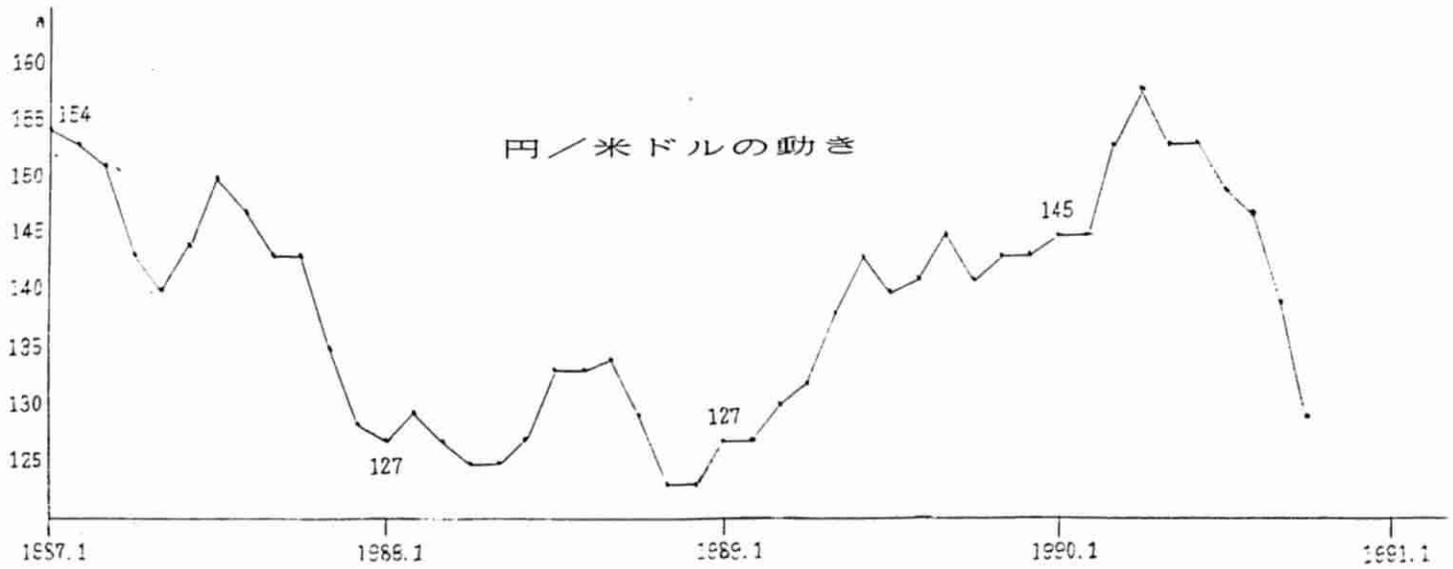
10月21日より11月30日まで恒例のセールを実施いたしましたところ、代理店のみなさまの絶大なるご協力を賜りおかげさまで所期の成果を達成することができました。心より厚く御礼申し上げます。セール景品については今月内にお引き渡しできますようご協力下さいますよう併せてお願い申し上げます。

### ☆ 空きパレットご返却のお願い

魁専用のパレットが不足しております。毎年補充しておりますが回収が滞りますと生産にも障害がでて大変困っております。空いたパレットは最寄りの運送便で着払いで即刻ご返送下さいますようお願い申し上げます。又少量しか入っていないパレットはご面倒でしょうが空けていただいてご返送下さいますようお願い申し上げます。

## ☆銅板・条価格水準訂正について

建材用銅板・条は伸銅メーカーが生産する数ある商品の中で最も採算の悪い品種で板・条メーカーすべての積年の悩みの種になっております。何故そうなのか。いろいろな要因が考えられますが、まず第一に操業度が生産コストに大きな影響を及ぼす関係上、どうしても量を指向するがその時建材用板・条は仕様が普遍的で特殊なものでないのでバッファ（緩衝材）として都合がよく売圧迫がマーケットに出やすい。第2に原料銅相場の激しい変化の影響をうけ価格が激しく動き混乱する。これらの理由でいったん価格が崩れたら仲々改善できないため常にメーカーはこの分野で赤字生産を余儀なくされ、流通もまた同様でありました。伸銅メーカーはここ数年の好景気で高い操業度が続いているにも拘らず経営成績が今一つで特に最近の高金利や副資材価格の上昇、物流コストの上昇が更に採算を悪化させてきており、抜本的に対策を講じなければ安定供給責任が果たせないところにきており、漸く採算のとれる水準までロールマージンを回復させようと動きだしました。又価格の出し方についても足許の銅価を基準にするきめ方から魁の基準建値をきめる時にも計算しています前月平均銅価を基準にするきめ方に変更されることも大きな変化であります。少なくとも1ヶ月間は同一価格で変えない。できれば将来はアルミの様に3ヶ月位同一価格で価格の安定した商品にしたいと考えられています。需要を育て伸ばしていくためには価格の安定した商品にすることが大切であります。漸くその緒についた感がいたします。皆様が板金業者さんに販売される場合に於いても、競争が激しく低採算でお困りになっておられる商品だと思います。之を是正するためにも価格を安定させ変化による混乱を避けることが大切ではないでしょうか。量を志向する販売姿勢から質を重視する販売姿勢への転換がこれからは大切になってきます。ともすれば目玉商品に使われるような販売をされてきた商品であります。皆様の会社が扱われる数ある商品の中で経営の足をひっぱる商品から貢献する商品になるようお互いに協力しあって行きたいと願っております。何卒このたびの価格水準訂正に深いご理解と絶大なるご協力をお願い申し上げます。



魷 基準 建 値			魷 基準 建 値		
1987年	1月	260	1989年	1月	478
	2月	252		2月	486
	3月	256		3月	447
	4月	266		4月	467
	5月	256		5月	462
	6月	256		6月	417
	7月	273		7月	404
	8月	303		8月	396
	9月	297		9月	456
	10月	304		10月	460
	11月	326		11月	442
	12月	394		12月	408
1988年	1月	427	1990年	1月	400
	2月	380		2月	383
	3月	335		3月	397
	4月	350		4月	466
	5月	332		5月	466
	6月	350		6月	462
	7月	364		7月	448
	8月	338		8月	459
	9月	354		9月	480
	10月	381		10月	455
	11月	439		11月	400
	12月	457		12月	